

鹿児島市コミュニティサイクル社会実験

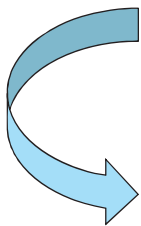
かごしまコミュニティサイクル
ECOちやり



鹿児島市環境政策課

I 鹿児島市におけるコミュニティサイクル導入目的

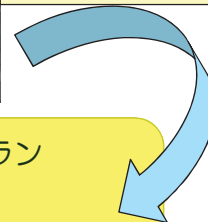
自転車で走りやすいまちの実現



《自動車から自転車への転換による地球温暖化対策》

《回遊性の向上による中心市街地の活性化、観光の魅力アップ》

鹿児島市地球温暖化対策アクションプラン
鹿児島市公共交通ビジョン
第2期鹿児島市中心市街地活性化基本計画



I 鹿児島市におけるコミュニティサイクル導入目的

◆鹿児島市の概況



I 鹿児島市におけるコミュニティサイクル導入目的

◆鹿児島市の概況

鹿児島中央駅地区と天文館地区の2極集中した中心市街地



I 鹿児島市におけるコミュニティサイクル導入目的

◆鹿児島市の概況

特徴ある公共交通
(路面電車や桜島フェリー)



I 鹿児島市におけるコミュニティサイクル導入目的

◆鹿児島市の概況

中心市街地に多彩に点在する
観光スポット



I 鹿児島市におけるコミュニティサイクル導入目的

◆鹿児島市の概況

公共交通や観光スポットを
結びつける新しいツール



II 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

社会実験の実施概要

項目	23年度	24年度
実験期間	10月5日～11月13日<40日間>	9月1日～11月30日<91日間>
運営時間	9:00～18:00（貸出は17:30まで）	7:30～19:00（貸出は18:30まで）
登録料	1日利用：200円 定期利用：1,000円/40日間	1日利用：200円 定期利用：1,000円/1ヶ月
利用料	30分まで：無料 30分～120分：100円/30分 120分以上：1,000円/h	1時間まで：無料 1時間をこえると1時間ごとに：300円
サイクルポート数	7箇所	6箇所
自転車台数	70台	70台
貸出返却システム	有人管理システム	有人管理システム

Ⅱ 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

① 実験期間延長

23年度

24年度

<40日間>
10月5日～11月13日



<91日間>
9月1日～11月30日

② 運営時間延長

23年度

24年度

9:00～18:00



7:30～19:00

目的：

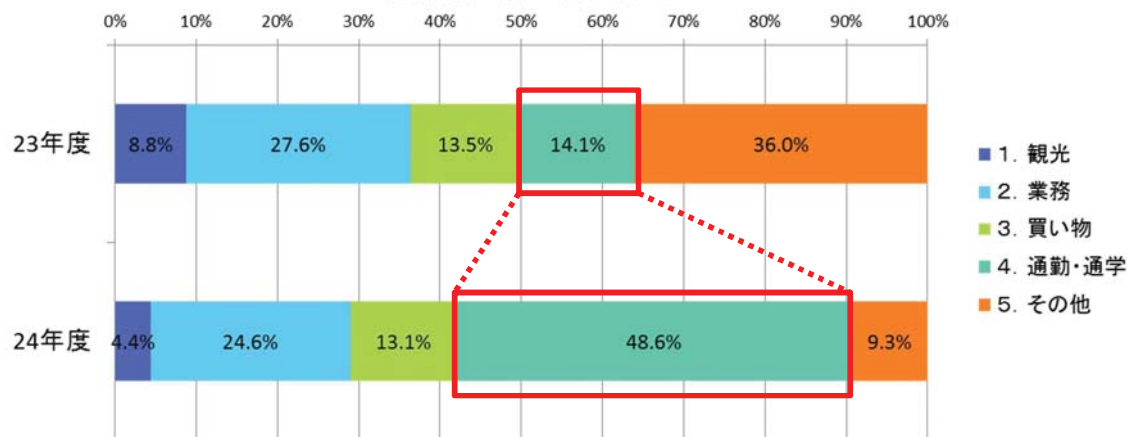
実験期間や運営時間を延長することで、23年度の社会実験ではカバーできなかった通勤通学等の利用ニーズを確認する。

Ⅱ 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

① 実験期間延長

② 運営時間延長

定期利用者の利用目的



定期利用者の「通勤・通学」目的の利用割合が大幅に増加し、利用ニーズがあることが確認された。

Ⅱ 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

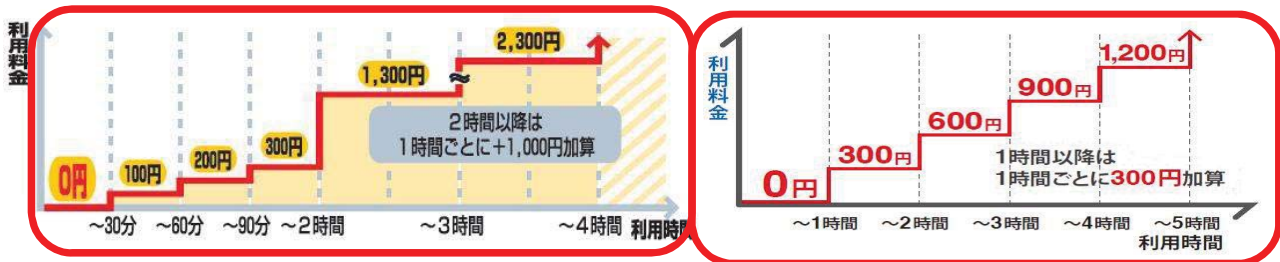
③利用料の変更

23年度

24年度

30分まで：無料
30分～120分：100円/30分
120分以上：1,000円/h

1時間まで：無料
1時間をこえると1時間ごとに：
300円



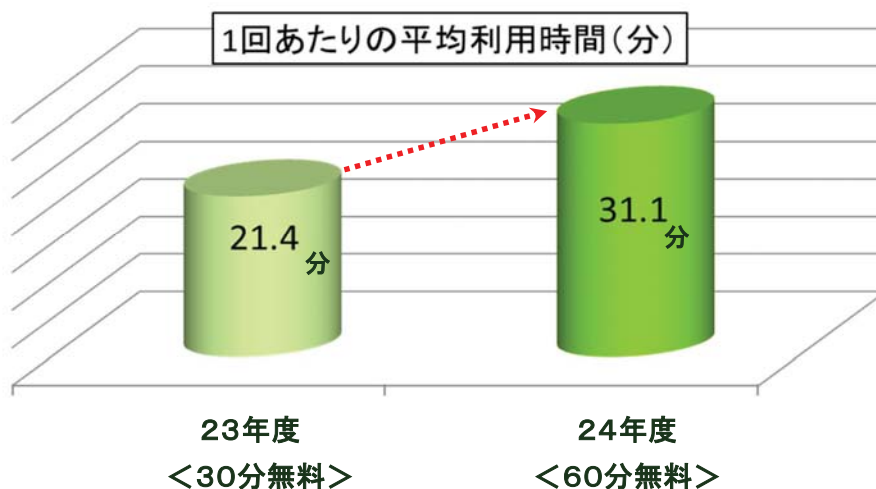
目的：

23年度の利用者アンケートにおいて、「時間が気になって行動が制約された」という意見が多くあり、利用者の利便性を高めるため、無料の時間を延長する。

利用者がわかりやすいシンプルな料金体系へ変更する。

Ⅱ 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

③利用料の変更



無料時間を30分延ばしたが、平均利用時間は10分しか延びなかった。

Ⅱ 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

④ サイクルポートの変更

サイクルポート現況写真（24年度）



高見馬場（歩道）



天文館・いづろ（歩道）



桜島フェリーターミナル
（施設内）



鹿児島中央駅
（駅前広場）

Ⅱ 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

④ サイクルポートの変更

23年度（7箇所）

24年度（6箇所）



目的：23年度利用が少なかった2箇所を廃止し、中央駅と天文館の中間に位置する重要な交通結節点（路面電車・路線バス）であり、オフィス等が集積している「高見馬場」に新設して、新たな利用動向を確認する。

Ⅱ 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

④ サイクルポートの変更 サイクルポート間の移動実態



◆市の玄関口である「鹿児島中央駅」を発着とする利用が一番多い。

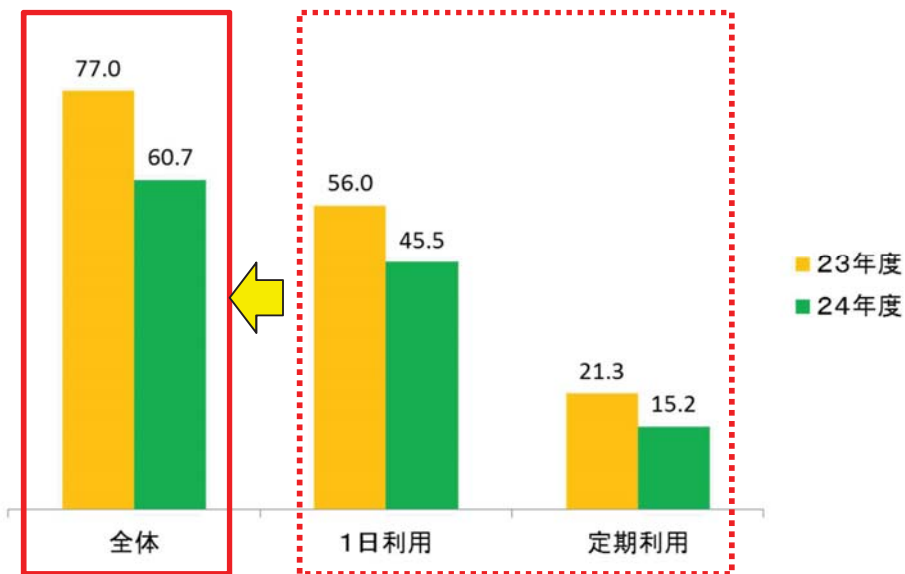
◆新設した「高見馬場」と「鹿児島中央駅」間も多く利用された。

◆「鹿児島中央駅」と「天文館地区」間の移動量の全体における割合が約10%増加し、新たな利用ニーズが確認された。



Ⅱ 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

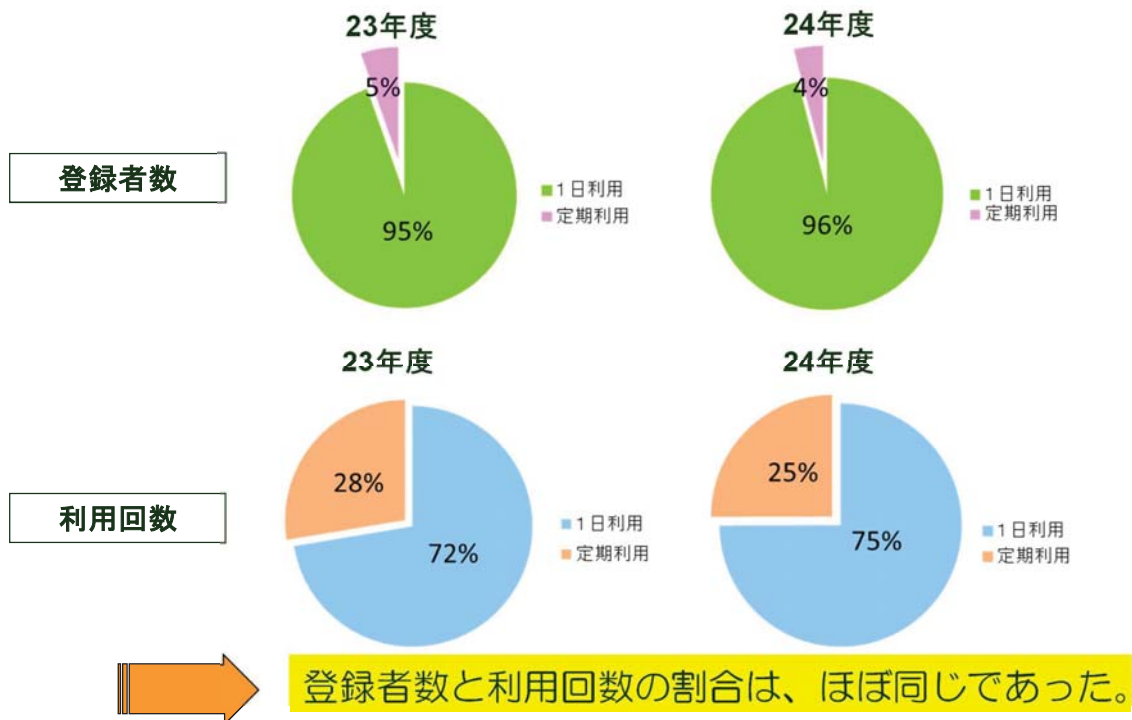
利用回数(1日平均)



利用回数（1日平均）は減少した。
社会実験期間の後半の季節（冬季）的要因や
サイクルポート数の減による影響が推察される。

Ⅱ 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

登録者数と利用回数の割合（1日・定期）



Ⅱ 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

利用目的（平日・休日別の利用目的構成比）



観光利用・市民利用（業務・買い物・通勤）と幅広い目的で利用され、24年度は、市民利用の割合が増加した。

Ⅱ 社会実験の効果と検証（23・24年度比較）

有人方式で実施



- ・多額の人件費を要するため、事業費の増加につながったなど

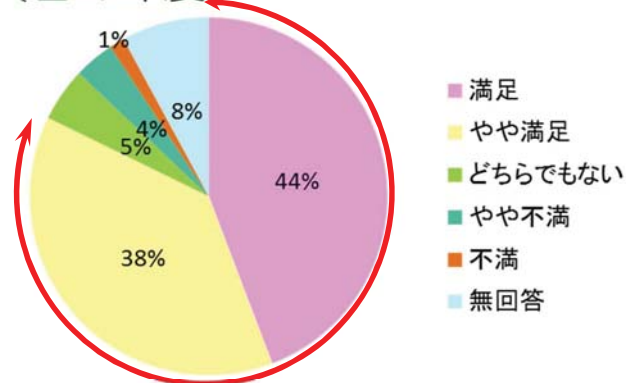


一方では、

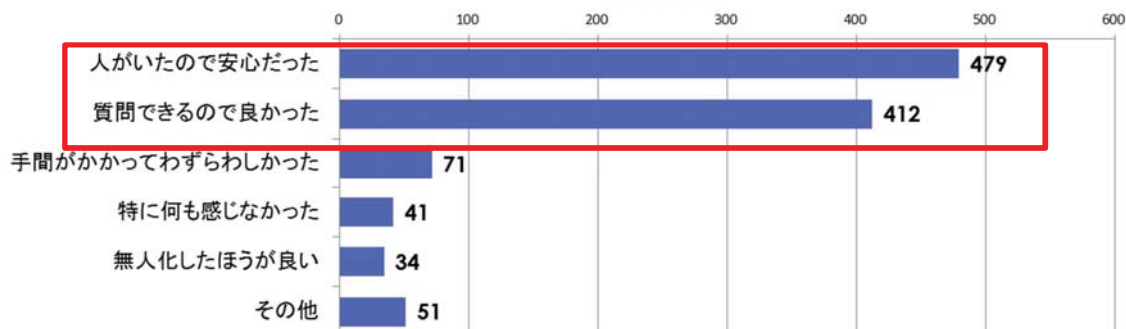
- ・「実験風景を見た」方が気軽に利用できた⇒利用者増
- ・各ポートにおいて、利用促進の案内を行うことができた
- ・特に観光客への「おもてなし」の対応ができた など

Ⅲ アンケートの結果（24年度）

社会実験の全体評価



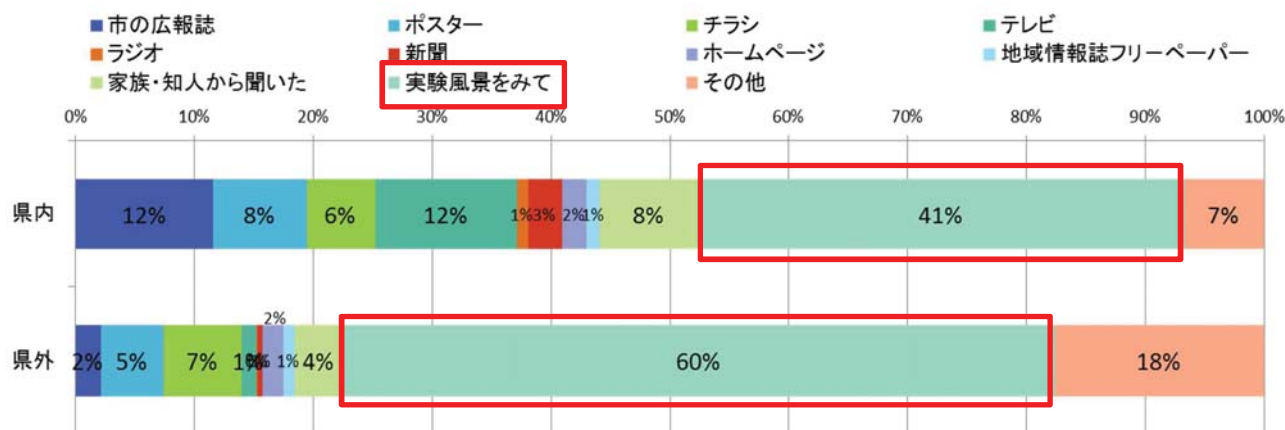
有人方式の評価



安心して利用していただき、有人方式のメリットが評価された。

Ⅲ アンケートの結果（24年度）

社会実験を利用したきっかけ



県内：多様な媒体から情報に触れて、利用していただいた。
県外：社会実験の風景をみて、利用していただいた。

Ⅲ アンケートの結果（24年度）

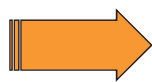
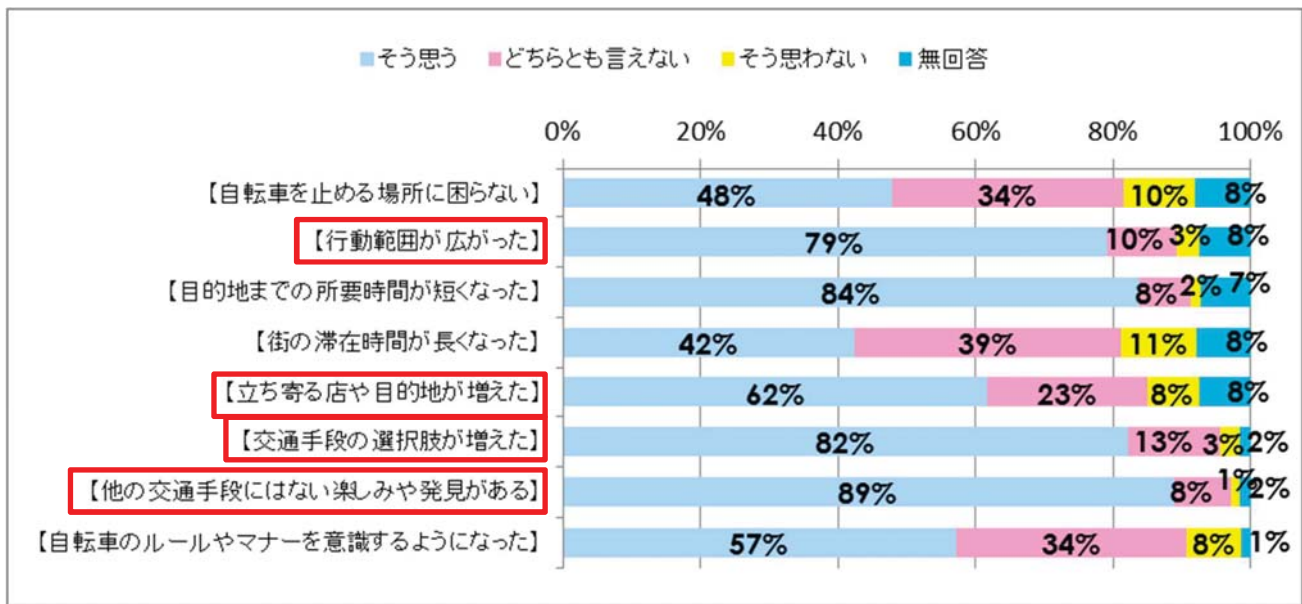
社会実験を利用したきっかけ

「実験風景を見て」



Ⅲ アンケートの結果（24年度）

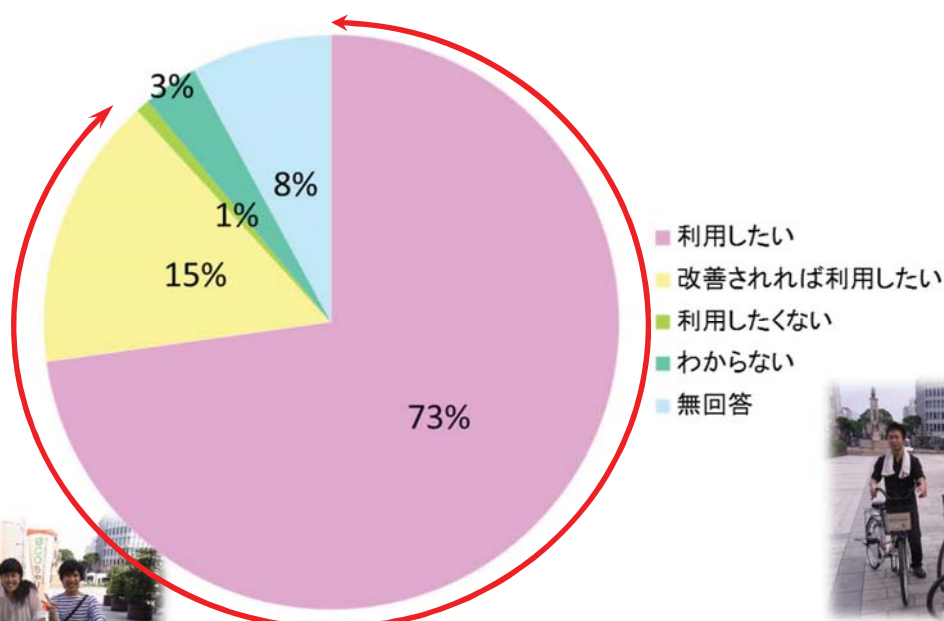
コミュニティサイクルを利用した感想



自動車からの交通手段転換、回遊性の向上による中心市街地の活性化、観光の魅力アップへの貢献が期待される。

Ⅲ アンケートの結果（24年度）

コミュニティサイクルが本格導入された場合の利用意向



非常に高い利用意向が確認された。

IV 本格導入に向けた今後の取組み

自転車走行空間の整備
ルール・マナーの周知

コミュニティサイクルを
継続発展させるために

観光施策との連携



商店街との連携



公共交通との連携

会員証を提示すると、おトクな割引サービス

店舗・施設名称	サービス内容
① 西菜工房いちば	無料ドリンク終サービス
② レコードステーション	中古商品100円 OFF
③ 本格湯割ふかえ	鹿児島限定販売の焼酎10%OFF
④ (有)ムラヤマ時計・宝石・メガネ	百貨店し時計(3,150円税込のみ)20%OFF
⑤ 鹿児島観光おみやげセンター	商品代5%OFF (99円未満品除く)
⑥ 維新ふるさと館	入館料20%OFF ※11/3は無料開放
⑦ かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館	入館料20%OFF ※11/3は無料開放
⑧ 鹿児島市立美術館	入館料20%OFF ※11/3は無料開放
⑨ よりみちグループ	運賃10%OFF 毎日出発 11:05～(約50分間)
⑩ いおワールド・かごしま水族館	入館料20%OFF 9:30～18:00 無休
⑪ ラケットショップフロエース	商品代5%OFF (2,000円～20,000円) 10:00～20:00 無休
⑫ 珈琲専門店 可苦三様	コーヒー(ドーナツ付き)330円→250円 (9時～19時) 9:00～19:30 日曜
⑬ スパゲティ専門店DaLoro(ダローロ)	お食事の方にデザートプレゼント 11:30～15:00 火曜
⑭ シュルラテール コムオンセル	お食事の方にドリンクサービス 17:30～21:00 木曜
⑮ ロココキャンティーン	お食事の方にミニソフトクリームサービス 10:00～23:00 無休
⑯ 天文館シネマパラダイス	ポイントカード会員入会金300円無料 9:30～23:00 無休

コミュニティサイクルを単独で実施するのではなく、様々な自転車施策やまちづくり施策と組み合わせて実施し、その効果を高めていく。



IV 本格導入に向けた今後の取組み

◆導入目的、ターゲットについて

- ・ 2回の社会実験の結果を踏まえ、目的・ターゲットを明確に設定

◆システム設計の検討

- ・ イニシャル、ランニングコストを抑えるシステム
- ・ 有人方式の利点も活かすシステム
- ・ 将来、拡充可能なシステム

◆地域（コミュニティ）との協力体制の構築

- ・ ポートの設置や貸出受付の実施などについて、地域の商店街やホテル等との協力体制の構築